

平成24年度人間文化研究所主要活動報告

I. 機関誌発刊

紀要『人間文化』第27号（平成24年9月20日）

〈論文〉

- 松 蘭 齊 『看聞日記』に見える尼と尼寺
菊 池 一 隆 在日朝鮮人学校における中等歴史教科書について
熊 田 一 雄 日本の宗教と「斜めの関係」
—天理教と脱ひきこもり—
木 村 英 憲 国際化のモデルとしてのアメリカ人像の批判的検討
—アメリカ人は人の目を気にしなくて、
日本人は気にするというのは本当か？—
田 島 毓 堂 意味分野別語彙構造分析法における意味コードの使用法及び
分類枠組についての提案
—単語コードと語素コードによる分析3（承前）—
木 村 文 輝 静岡県中・東部地方における曹洞宗の廃絶・転宗寺院の歴住世代(1)
上 田 恒 雄 グローバル英語学科における習熟度別リスニング指導の成果(4)

〈翻訳・訳註〉

- 大 野 榮 人 } 『法華玄義』の研究（十五）
伊 藤 光 壽 }
橋 本 龍 幸 『フランク史書』 *Liber Historiae Francorum*
神 山 重 彦 『ボディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』第55章への
補注

〈プロジェクト研究〉

- 林 淳 仏教と多神教をめぐる比較宗教学的的研究・覚書
蛸 島 直 蟹に化した人間たち(1)

『人間文化研究所報』第38号(平成24年9月)

- 橋本 龍 幸 ウイリブロードとエヒタナッハ
田島 毓 堂 語彙の意味分野別構造分析
小林 隆 夫 一九世紀イギリス東アジア政策におけるチベットの位置
木村 英 憲 “外人”は差別語か？
熊田 一 雄 武装としてのファッション

[共同プロジェクト報告]

- 松 蘭 齊 } 「日本人と日記」歴史学的研究
後 藤 致 人 }
多 門 靖 容 } 対人コミュニケーションの理論的・実証的研究
岡 本 真 一 郎 }
高 木 眞 理 子 } 「ミュージカルを通して見る英米文化」
松 崎 博 } 一記憶と空間一
芝 奈 穂 }
G ロウ }
鈴 木 俊 次 } 「イギリスにおける植物学の発展と文学、1850-1930」
有 為 楠 泉 }
芝 奈 穂 }
神 山 重 彦 } 妖怪像の展開：物語学と民俗生物学の視点から (二)
蛸 島 直 }

II. 講演会・研究報告会・研究会の開催

1. 講演会

第32回講演会(平成25年1月11日(金) 15時10分～ 3107教室)

「日本と世界をつなぐハイブリット・ファッション史」

駒澤大学講師 横田尚美先生

2. 研究会

第1回研究会(平成24年7月20日(金) 13時00分～ 4303教室)

「Satyakriyāについて」

東京大学教授 原 實先生

第2回研究会(平成24年10月2日(火) 11時10分～ 7103教室)

「近世ヨーロッパとオスマン帝国」

東京大学准教授 黛 秋津先生

第3回研究会(平成24年11月13日(火) 13時30分～ 3428教室)

「トルコ現代小説の表象世界」

大阪大学大学院教授 勝田 茂先生

3. プロジェクト研究会

【松蘭プロジェクト】 テーマ：日本人と日記

(平成24年12月15日(土)14時00分～ 3426教室)

「中世近衛家の家記について」 東京大学史料編纂所 尾上陽介先生

「近世大坂町人にとっての日記の意味—平野屋武兵衛を例に—」
本学歴史学科教授 中川すがね先生

III. 研究形態

平成25年度研究計画

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 共同プロジェクト研究(2名以上の共同研究) | 5プロジェクト |
| (2) 個人研究 | 8名 |
| (3) 紀要執筆予定 | 22編 |
| (4) 講演会 1回(グローバル英語学科担当) | |
| (5) 研究会 4回予定 | |

IV. 運営委員会

- 第1回(平成24年4月18日)[主要議題]新運営委員紹介・役割分担他
- 第2回(平成24年6月27日)[主要議題]嘱託研究員内規修正案・紀要について他
- 第3回(平成24年7月26日)[主要議題]共同プロジェクト募集・嘱託研究員内規修正他
- 第4回(平成24年11月28日)[主要議題]図書購入希望について他
- 第5回(平成25年2月14日)[主要議題]平成25年度嘱託研究員審査他